

平成25年9月定例会市議会市政報告

市政報告に先立ちまして、まずは7月17日、釧路市出身の作家、桜木紫乃さんに栄えある第149回直木賞の受賞が決定されましたことを心よりお喜び申し上げます。受賞作の「ホテルローヤル」は釧路における経験をもとに書き下ろされた作品で、釧路市といたしましてもたいへん誇らしい快挙であり、とてもうれしく感じております。

釧路市ではこの輝かしい栄誉を讃えるとともに、創作活動を通じて、釧路市の知名度向上と文化活動へ寄与された功績に感謝の意を表し、釧路市長特別表彰の贈呈を決定したところであり、9月22日に生涯学習センターで開催されます「桜木紫乃さんトークセッション」会場において執り行わせていただく予定であります。

桜木さんの更なるご活躍を願い、今後ともその創作活動によって文学界に輝かしい足跡を残されることを期待しております。

それでは、6月定例会市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

報告の第一は、世界自然遺産シンポジウムについてであります。

広く地域全体で「マリモの阿寒湖」の世界自然遺産登録を目指していく機運の醸成を目的として、去る8月24日、釧路市観光国際交流センターにおいて、世界自然遺産シンポジウムを開催いたしました。

会場には、約400名の市民にご参加いただき、世界自然遺産登録についての講演やパネルディスカッションを通じて、あらためて地域の宝であるマリモを育む阿寒湖の自然の素晴らしさについて、認識を深めていただくことができたものと思っております。基調講演には、世界自然遺産に関して我が国の第一人者である岩槻邦男氏をお招きし、特別天然記念物マリモの棲む阿寒湖の自然が、世界自然遺産の登録基準に照らして世界に冠たる資産であることをいかに科学的根拠とともに説明しきることが重要であるとともに、地域住民の環境保全に対する理解や支援そして、熱意も大切であるとのお話がありました。

今回のシンポジウム開催を契機に、市民とともに世界自然遺産登録に向けた運動をしっかりと展開してまいりたいと考えております。

報告の第二は、釧路市動物園におけるライオンの誕生及びキリンの導入についてであります。

去る7月26日に、父「アキラ（6歳）」、母「ゆうき（5歳）」との間に仔ライオンが4頭生まれました。うち2頭は残念ながら死産でしたが、残る2頭のオスは、母「ゆうき」の愛情を受け元気に成長しております。

一般公開及び愛称募集の時期は、人に馴らすための試験公開の状況を見ながら決定する予定であり、現在は園内においてビデオカメラによるライブ映像を放映しております。

次に、待望のキリンの導入についてであります。キリン舎の改修工事と「チャイルズエンジェル」の皆さんから寄贈されるキリン観覧施設の設置工事及び放飼場の改修工事を終え、近日中におびひろ動物園からオスのアミメキリン1頭「愛称スカイ（1歳）」が到着する予定となっております。1ヶ月ほど新しい獣舎や釧路市動物園の環境に馴らし、10月12日に市民の皆さんに公開したいと考えております。

スカイ君の公開にあわせ、釧路市動物園では、10月12日から14日までの3日間、「チャイルズエンジェル」の皆さん、動物園協会等にも協力をいただきながら、キリンの来園を祝うイベントの開催を予定しております。

メスのキリンの導入につきましては、現在、東京都羽村市動物公園の愛称「コハネ（1歳）」というアミメキリンを、繁殖を目的としたブリーディングローンの方で導入する方向で交渉を進めており、今後、羽村市動物公園の意向を確認しながら導入時期を決定することとなっております。

今回のライオンの誕生及びキリンの導入により、子どもたちの動物への関心を高め、来園者の増加につながるものと期待しております。

報告の第三は、釧路市観光大使の任命についてであります。

釧路市観光大使につきましては、釧路市の知名度及びイメージの向上を図り、本市の観光振興に寄与することを目的としてこのほど制度化することといたしました。

釧路市に愛着を持ち、広く釧路市の魅力、観光情報等をPRすることができる方を対象者とし、釧路市と釧路観光コンベンション協会及び阿寒観光協会まちづくり推進機構の三者による選考手続きを経た上で、市長が観光大使に任命するものであります。

釧路市初の観光大使には、本市在住の人気漫画家・小畑友紀さんの作品「僕等がいた」の主人公である高橋七美と矢野元晴、そして釧路市内外で活躍中のフォークデュオ「ヒートボイス」を任命させていただくことといたしました。

「僕等がいた」の高橋七美と矢野元晴については、9月4日に、市役所において小畑友紀さん立会いのもと任命式を行いました。

今後は、そのイメージキャラクターを配した観光名刺に、当市の観光情報も入手できるQRコードを組み込んで制作し、釧路市の観光PRに活用してまいりたいと考えております。

ヒートボイスは、これまでも釧路を元気にする楽曲を数多く制作しており、本年発表された「イランカラプテ」は、内閣府のアイヌ文化広報番組のBGMに採用され、8月からインターネットテレビで配信されるなど、幅広い活動を通じ釧路をおおいにアピールしていただいております。

任命式は9月7日の釧路大漁どんぱく「いい味イキイキくしろ」のオープニングセレモニー終了後、同会場内で行ったところであります。

観光大使に任命された方々におかれましては、今後とも、本市観光の情報発信とPRに努めていただけるものと期待しております。

報告の第四は、津波避難計画住民説明会についてであります。

東日本大震災を踏まえて、「最大クラスの津波」から市民の命を守る津波避難対策の検討を行なってきたところでありますが、この度、徒歩避難を原則とした避難方法や新たな避難路、津波避難施設の指定、津波警報発表時の初動対応等を盛り込んだ釧路市津波避難計画を策定いたしました。

併せて、気象庁の新しい津波予報区分に対応した、津波ハザードマップを作成し、釧路地区、音別地区の全世帯に配布したところであります。

この「津波避難計画」と「新津波ハザードマップ」についての住民説明会を、8月20日～9月3日にかけて市内7か所で開催し、多くの住民の方々がたいへん熱心にご参加をいただいたところであります。今後とも、市民の安全安心をしっかりと確保していくため、大規模津波災害の発生に備えた防災・減災対策に全力で取り組んで参りたいと考えております。

報告の第五は、建設工事の発注状況についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約126億6,000万円ですが、8月31日現在における発注済額は約109億1,000万円、発注率は、86.2%となっております。このうち、地元企業への発注は、金額で約98億6,000万円、率は90.4%であります。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が50%、上水道事業で94%、下水道事業で64%、住宅建設事業は89%となっております。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。